

## 「子ども110番の家」の現状について

### 1 「子ども110番の家」の取組とは

保護者や地域住民、事業者等の協力により、地域ぐるみで子どもを犯罪から守るための取組で、「子どもを守るボランティア活動」の一つです。

平成9年に全国的に始まりました。

### 2 「子ども110番の家」が行うこと

- 助けを求めたきた子どもの保護
- 事件・事故の発生を認知したときの110番通報
- 近所に子どもたちが被害に遭いそうな危険箇所等を発見した場合の連絡

### 3 春日原小学校区の「子ども110番の家」の現状について

春日原小学校区では、約80件の個人宅や事業所が「子ども110番の家」に登録してくださっています。その登録してある個人宅や事業所へは、PTA安全委員会が毎年あいさつに伺って、協力の依頼を続けています。このような中、PTA安全委員会からここ数年、次のような声があがっています。

〈形骸化してきており、機能している家が少なくなっているのではないかと〉

- ◆ ドアホンを鳴らしても、なかなか応答してもらえない家の存在
- ◆ 日中不在にしている家の存在
- ◆ 登録をしているが、プレートを掲げていない家の存在

「万が一のとき子どもを助けることができなくなるのではないかと」という心配

### 4 委員の方々にお知恵をいただきたいこと

「子ども110番の家」を効果的に運営していくためには、どのようにしていったらよいのだろうか。